

令和 7 年度

# 総合戦略事業評価報告書

〔評価対象：令和 6 年度デジタル田園都市国家構想交付金事業〕

令和 8 年 1 月

にかほ市ふるさと創造有識者会議

## はじめに

### 1. ふるさと創造有識者会議について

本市では、平成27年11月に「にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

まち・ひと・しごと創生を効果的・効率的に推進していくためには、住民、NPO、関係団体や民間事業者等の参加・協力が重要であることから、総合戦略策定にあたっては、住民をはじめ、産業界・教育機関・市町村や国の関係行政機関・金融機関・労働団体・メディア（産学官金労言）等で構成する推進組織でその方向性や具体案について審議・検討し、広く関係者の意見が反映されるようにすることが重要とされた。

また、その効果検証に際しても、その妥当性・客観性を担保するため、行政の中だけで行うのではなく、このような組織などを活用して、外部有識者の参画を得ることが重要とされていることから、産学官金労言の各分野における有識者及び住民代表からなる「にかほ市ふるさと創造有識者会議」を設置した。

### 2. 令和7年度にかほ市ふるさと創造有識者会議構成

役 職	氏 名	所 属	分野
議 長	小山内 正 博	北都銀行 象潟支店長	金
副議長	大 森 章 英	秋田県由利地域振興局 地域企画課長	官
議 員	辻 正 美	にかほ市観光協会 会長	産
〃	佐 藤 佑 介	にかほ市工業振興会 会長	産
〃	土 井 剛	秋田しんせい農業協同組合 西部営農センター長	産

※にかほ市商工会青年部長 佐々木 知剛 氏は欠席。

## ふるさと創造有識者会議の審査概要と総評

令和7年度のにかほ市ふるさと創造有識者会議（事業評価）は、令和7年11月26日に開かれ、令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業として実施された3事業を評価したので、その審査概要を報告するとともに総評を述べる。

総合戦略の推進にあたってはPDCAサイクルの運用が求められることから、評価は事業の目標（KPI：重要業績評価指標）の達成に効果があったかどうかについて、A（効果がある）、B（やや効果がある）、C（あまり効果がない）、D（効果がない）の4段階で行った。

評価を行ったのはデジタル田園都市国家交付金事業である【にかほ市デジタルアーカイブ事業】と【公式LINEを活用した行政サービスオンライン化】、【にかほ市アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業】の3事業であった。

5名の議員から、それぞれの事業に対して多くの意見や要望が出されたので若干紹介したい。

- ① 「にかほ市デジタルアーカイブ事業」に関しては、歴史等の蔵書を残していくことは非常に重要なことであり、蔵書のデータ検索が可能になったことで、市民だけではなく、世界中の人が幅広く活用することができるため、非常に効果的な事業であったという意見があった。
- ② 「公式LINEを活用した行政サービスオンライン化」に関しては、にかほ市の様々な情報を得ることができるため大変便利なサービスだが、セグメント設定が登録されていないことにより十分なサービスを受けていない人が多くいるといった課題があり、改善策の検討が必要であるといった意見があった。
- ③ 「にかほ市アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業」に関しては、年間目標の10万人に対し、令和6年度の6月から3月までに11万6800人と8か月で目標を達成できている。道の駅周辺エリアへの来訪者が増えていることは、実際に見て実感できるほどであり大きな効果があるといった意見が多くあった。

会議では市職員の意識の高さや事業への意欲を強く感じた。議員からは事業効果を向上させる、あるいは、にかほ市の地方創生を進めるための意見が多かった。

今回評価した３事業はデジタル田園都市国家交付金事業であったが、すべての事業において、交付金が終了した後も、一般財源を使って続けており良い結果が出ている。

担当課には、事業の捉え方や事業の対象、評価項目にある事業の必要性等についての確な記載と説明に努められるようお願いしたい。また、K P I については目標値をクリアしたかどうかだけではなく、翌年度以降の目標値を見直すなど、より柔軟で効果的な運用に努めてほしい。

総合戦略事業の評価は、事業をより良いものにするという観点でなされている。よって、今回、各議員から出された意見を十分検討し事業の改善に役立てるのはもちろん、根本的な見直しや効果が見込めないものについては廃止までを含めて必要に応じて見直しを行い、にかほ市の地方創生に資する事業にしていくことを期待する。

行政のみならず、外部の力も借りながら「にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に取り組み、2万1千人からの人口減少に歯止めがかかるように努力してほしい。

令和8年1月7日

にかほ市ふるさと創造有識者会議

議 長 小山内 正 博

副議長 大 森 章 英

議 員 辻 正 美

〃 佐 藤 佑 介

〃 土 井 剛

## ○会議の開催経過

会 議	日時・場所	内容
第1回会議	令和7年11月26日（水） 象潟新産業支援センター しまのま	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱状交付</li> <li>・議長及び副議長の指名</li> <li>・有識者会議の設置について</li> <li>・会議の進め方について</li> <li>・事業評価について</li> <li>・評価作業（3事業） 白瀬南極探検隊記念館、総合政策課、観光課</li> </ul>

## ○評価対象とした事業

別表「令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業」のとおり

## ○評価の区分

評価は、次に示す4区分によるものとし、意見や提言等を付すものとした。

- 評価A K P I の達成に効果がある
- 評価B K P I の達成にやや効果がある
- 評価C K P I の達成にあまり効果がない
- 評価D K P I の達成に効果がない

## ○評価の手順

- 手順1 事業担当課による事業概要等の説明 15分程度
  - ↓
  - 手順2 質疑応答 15分程度
  - ↓
  - 手順3 各議員の評価発表
  - ↓
  - 手順4 評価のまとめ（総合評価）
- } 10分程度

## 令和 6 年度デジタル田園都市国家構想交付金事業

○事業計画期間      番号 1・2    令和 6 年度のみ（1 か年）  
                              番号 3        令和 4 年度から令和 8 年度（5 か年）

番号	総合戦略における分類			事業名	課・班名
	基本目標	大分類	中分類		
1	にかほ市自治体 D X ビジョン（横断的目標）	市民生活における利便性の向上と業務効率化	博物館系施設収蔵の貴重資料をアーカイブ化	にかほ市デジタルアーカイブ事業	教育委員会 白瀬南極探検隊記念館
2	にかほ市自治体 D X ビジョン（横断的目標）	市民生活における利便性の向上と業務効率化	電子申請、届出サービスの充実	公式 LINE を活用した行政サービスオンライン化	総合政策課 シティプロモーション班
3	次世代を担う産業振興	観光を核とした交流人口の拡大		にかほ市アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業	観光課 観光振興班

《令和7年11月26日（水）有識者会議》

No.	事業担当課名	事業名	事業種別
1	白瀬記念館	にかほ市デジタルアーカイブ事業	委託事業

事業の概要	事業内容	市内博物館系施設の「仁賀保勤労青少年ホーム展示室」、「フェライト子ども科学館」、「象潟郷土資料館」、「白瀬南極探検隊記念館」が収蔵する資料について、4館統合のデジタルアーカイブを構築する。デジタルミュージアムとして表現することで市が抱える諸課題の解決に寄与する。
	事業の対象	市民、市内児童・生徒、学術研究者、来館者、潜在的来館者等
	活動内容	・市内博物館系施設4館が収蔵する資料のデジタルアーカイブを構築し、デジタルミュージアムとしてウェブ上で公開する。 ・市内博物館系施設が収蔵する研究書籍の書誌情報を、既存の「にかほ市図書館システム」に組み入れる（登録する）。
	目的・成果	市が学校教育で掲げる「にかほ地域学」の推進や研究者らとの「関係人口」の増進、潜在的来館者である非来館者へのアプローチによる「文化観光」の促進、市民の「シビックプライド」の醸成など市が持っている課題の解決の一助にしたい。

評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書の検索が可能になり、市民だけではなく、世界中の人が幅広く活用することができる。また、子どもたちも活用しやすいと思われる。</li> <li>歴史的文化を残しておくことは非常に重要なことであるため評価できる。</li> <li>ページビュー（PV）数がかなり伸びており、今後も期待できる。</li> <li>事業開始時期が遅れたことで、初年度の目標は達成できていないが、今年かなり伸びているとのことで、今後も認知度向上のための情報を発信してもらいたい。</li> <li>このデジタルアーカイブ事業の効果で、南極観測探検隊が捕獲したペンギンのはく製が台湾の博物館で保管されているのがわかった。今後も世界中とつながったやりとりが期待できる。</li> </ul>			
		A : 5人	B : 0人	C : 0人	D : 0人

<p>有識者会議での参考・意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月1日から11月25日までで表示回数は5万8000件。</li> <li>・ 登載資料の2次利用について、コモンズ証という国際的な標記を用いて、利用条件を示している。</li> <li>・ PR活動としては、デジタルアーカイブができた令和7年3月終わりに公開発表会を実施した。マスコミにも投げ、さきがけ新聞に取り上げてもらった。市のホームページ（HP）やSNS、白瀬記念館のHP等に掲載もしている。</li> <li>・ PV数の内訳がリピーターなのか市外なのかなどを把握することで、PV数を伸ばすことにつながると思われる。</li> <li>・ 学校教育現場でどのようにつかっていくか、にかほ市民にどのように伝えていくか、どのような方針で進めていくのかを明確にし今後取り組んでもらいたい。</li> </ul>
----------------------	--

《令和7年11月26日（水）有識者会議》

No.	事業担当課名	事業名	事業種別
2	総合政策課	公式LINEを活用した行政サービスオンライン化	委託事業

事業の概要	事業内容	クマ出没や災害情報の発信のみにとどまっていた市公式LINEアカウントに新機能を拡充させることにより、市民ニーズの向上と行政サービスのオンライン化を図る。
	事業の対象	市公式LINEアカウントに友だち登録している市民等
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所窓口での行政手続きのオンライン化による市民の利便性の向上。</li> <li>・セグメント配信により、広報紙やHP、SNS等と差別化を図る。</li> <li>・道路の不具合や防犯街灯の故障などを市民が報告できる通報機能の導入。</li> </ul>
	目的・成果	利用率が9割を超えるLINEを活用し、行政情報の発信・取得のため大幅に機能拡張することにより、老若男女問わずに行政手続きができる仕組みを構築し、行政サービスの向上を図る。

評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所に行かなくてもサービスを受けることができるなど、市民サービスの向上にかなり繋がっている。情報収集において非常に効果的である。</li> <li>・にかほ市の様々な情報を得ることができるため、登録することで、にかほ市での生活を満喫できるのではと考える。</li> <li>・にかほ市から県外に出た学生や就職した人なども地元の情報を得ることができ、非常に効果のあるものである。</li> </ul>			
		A : 5人	B : 0人	C : 0人	D : 0人

<p>有識者会議での参考・意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度に入って、イベント情報等がほぼ毎日掲載されている。</li> <li>・ セグメント設定をスキップして登録することができてしまうため、設定をしていない場合は、災害情報と広報のみの配信となってしまう。セグメント設定をすることで、何かしらの特典がもらえるといったことや、社員寮等へ入居して来た方への呼びかけ等ができるのではないかな。</li> <li>・ 紙媒体の広報から公式 LINE を活用した電子データでの情報発信に変えることにより、印刷費や配布の作業がなくなり経費の削減につながるのではないかな。紙媒体と電子データ両方を実施するハイブリッド式も考えられる。</li> <li>・ LINE のサービスにある「通報」について、道路の通報は 2 か月に 1 回程度の実績であった。簡易なものであれば市職員で対処し、大規模なものであれば自治会の会長に相談し対処方法を検討するといった対応をしている。</li> </ul>
----------------------	---

《令和7年11月26日（水）有識者会議》

No.	事業担当課名	事業名	事業種別
3	観光課	にかほ市アウトドアアクティビティ 拠点施設整備事業	委託事業

事業の概要	事業内容	市民及び本市への来訪者に対し、本市が有する豊富な地域資源を活用したアウトドアアクティビティに関する情報発信、サービスを提供するとともに、アウトドア用品の購買等の場を提供し、滞在型観光の推進による地域産業の振興と余暇活動の充実による健康増進等につなげる施設を設置。また、その施設を活用したアウトドアおよび観光の振興を図る。
	事業の対象	市民、来訪者
	活動内容	アウトドア拠点施設を軸にアウトドアイベントやセミナーを開催し、アウトドアの普及を図る。
	目的・成果	市内に点在するアウトドアフィールドをつなぐ拠点を道の駅エリアに整備し、情報提供及び体験コンテンツの造成、アウトドアアクティビティによる市内滞在時間延長に伴う観光消費額の増加、道の駅エリアの目的地化を図る。

評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅への来訪者が増えていることは、実際に見て実感しており、モンベルのネームバリューはすごい効果があると感じている。にかほ市の存続に大きな影響力のある事業である。</li> <li>「モンベルさんが来たから良かった」で終わらずに、道の駅周辺エリアでのコンテンツに皆が協力する形となれば、高速道路開通後もにかほ市が目的で来てもらえるような、何か中心的な場所になる可能性を感じる。</li> </ul>			
		A : 5人	B : 0人	C : 0人	D : 0人

<p>有識者会議での参考・意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設に立ち寄った人が、令和6年度の6月から3月までに11万6800人。年間目標の10万人だったため、この8か月で目標を達成できたのは、開店1年間の実績としては順調だったと思われる。</li> <li>・ 高速道路が全線開通となった際には、関係人口がかなり減ってしまうと考えられる。にかほ市の存続に大きく関わるような素晴らしい事業になってもらいたい。</li> <li>・ カヤックのイベントではアウトドアベースの備品を使用している。備品は市が購入し、メンテナンス含めて指定管理の一部としてモンベルに管理を委託している。金浦の竹島潟に新しい艇庫を建設中であり、そこでもカヤックの貸し出しを行う予定である。パドルスポーツ普及のために1人でも多くの人に体験してもらいたい。</li> <li>・ E-バイク体験などの休日のイベントを、観光協会の職員やにかほ市観光課の職員が運営している状況。今後は、モンベルスタッフからも協力を得ながらイベントを運営していきたい。</li> <li>・ ニカホアウトドアベース含め、道の駅象潟エリアは、秋田県の県南の観光拠点である。県も冬季の誘客促進は課題であり、観光キャンペーンのアフターとして体験コンテンツの割引などを実施している。にかほ市と由利本荘市と連携し観光事業をおこなっており、今後も引き続き実施してもらいたい。</li> </ul>
----------------------	---